

## ①当共済組合全体の重点取組事項

疾病特性の区分	共済組合全体の方向性	左記方向性に基づき必要と考えられる保健事業		事業目的	法定事業 (●) 支援金加減算対象	当共済組合 全体の重点 取組事項	支部で今後 必要と考える 事業	これまでの 支部事業
生活習慣病 (タイプ1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査・特定保健指導の実施率向上</li> <li>・組合員等の利便を考慮した実施体制の整備及び周知</li> <li>・事業主健診の結果授受その他の事業者との間の事務を円滑に行うための所要の整備</li> <li>・個人に合わせた情報提供の拡充及び実施方法の工夫（必要に応じてICTを活用）</li> <li>・LDLとHbA1cについて優先的に改善</li> <li>・若年層に対し健康増進に寄与する事業を推進</li> </ul>	1-1	特定健康診査 (事業主健診結果受領・人間ドック)	生活習慣病リスクの早期発見の機会提供を行うとともに、特定保健指導をはじめとした各種予防対策を必要とする者を的確に選別すること。	●	○	○	○
		1-2	特定保健指導【1次予防】	対象者の個別の状況に応じ必要な指導及び助言を行い、これを通じて生活習慣病に移行させないこと。 (医療費の適正化)	●	○	○	○
		1-3	個性性の高い情報提供（ICTの活用を含む）【1次予防】	健診結果から自らの健康状況を認識するとともに、健康な生活習慣の重要性に対する理解と関心を深め、主体的に健康の維持・改善活動を行うきっかけとなるよう意識づけを行うこと。 (健康行動への意識づけ)	○	○	○	○
		1-4	生活習慣病に関する意識啓発【1・2・3次予防】	参加者が生活習慣病予防に関する必要な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、そして生活習慣病予防に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。			○	○
		1-5	医療機関の受診勧奨【2次予防】	対象者が健診結果から自らの健康状況を強く認識し、生活習慣病の早期治療の開始（医療機関の受診）や、生活習慣の改善行動に繋がるよう促すこと。 (高額医療への発展リスクの低減/生涯医療費の抑制)	○		○	
		1-6	重症化予防【3次予防】	既に治療を開始している対象者において、かかりつけ医と連携し、身体機能の維持に必要な自己管理の指導及び助言を行い、これを通じて慢性疾患の重症化や合併症の発症・再発を防止すること。	○			
		1-7	40歳未満に対する人間ドック・保健指導	生活習慣病リスクの早期発見の機会提供を行うとともに、対象者の個別の状況に応じ必要な指導及び助言を行うことで、40歳に到達したときにメタボリックシンドローム及びその予備群に該当しないこと。			○	○

疾病特性の区分	対策の方向性	左記方向性に基づき必要と考えられる保健事業	事業目的	法定事業(●)支援金加減対象	当共済組合全体の重点取組事項	支部で今後必要と考える事業	これまでの支部事業
(続き)	※今回、1-8～12について注目した分析は行っていないが、当共済組合における重点取組事項としている。	1-8	運動習慣づくりの支援	運動施設の利用等を通じて、運動習慣を継続するための機会を提供すること。	●	○	
		1-9	飲酒が健康に与える影響についての意識啓発	飲酒が健康に与える影響に関する必要な知識を獲得して、必要な意志決定ができるように、そして節酒に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。		○	
		1-10	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の認知度の向上	組合員等が広報等を通じてCOPDに関する知識を獲得し、自ら予防に取り組むよう誘導すること。		○	
		1-11	禁煙についての意識啓発	組合員等が禁煙に関する必要な知識を獲得して、必要な意志決定ができるように、そして禁煙に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。	●	○	
		1-12	禁煙支援	喫煙者に禁煙プログラムへの参加や禁煙外来の助成、禁煙補助薬の配付・助成を通じて、禁煙を開始させ、定着化させること。	●	○	
悪性新生物(タイプ2)	・特に婦人がん検診の拡充	2-1	胃がん検診	胃がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○
		2-2	大腸がん検診	大腸がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○
		2-3	肺がん検診	肺がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○
		2-4	乳がん検診	乳がんの早期発見の機会提供を行うこと。		○	○
		2-5	子宮頸がん検診	子宮頸がんの早期発見の機会提供を行うこと。	○	○	○
		2-6	その他のがん検診	上記5大がん以外のがんの早期発見の機会提供を行うこと。			
		2-7	がんに関する意識啓発	組合員等が婦人がんを始めとしたがんに関する必要な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、また、がんの予防及び早期発見に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。		○	
精神の疾病(タイプ3)	・法定のストレスチェック受検後のフォローアップに活用することを意識	3-1	メンタルヘルス相談	メンタルヘルスに関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、悩みや不安を解消すること。	●	○	○
		3-2	メンタルヘルスに関する意識啓発	参加者(一般の組合員等/管理監督者)がメンタルヘルスケアに関する必要な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、そしてメンタルヘルスケアに自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。		○	○
		3-3	ストレスチェック(心の健康チェック事業)	メンタルヘルス不調の気付きを促すとともに、ストレスの原因となる職場環境の改善につなげる。 (ストレスチェックは事業者を実施義務があるため、共済組合はそれを支援する。)		○	○
歯の疾病(タイプ3)	※今回、歯科に注目した分析は行っていないが、当共済組合における重点取組事項としている。	3-4	歯の喪失防止についての意識啓発	発生する年代・性別に応じて歯科疾患の予防に関する注意喚起の情報発信及び保健物資の配付を行うこと。		○	
		3-5	歯科健診	う蝕や歯肉炎の早期発見の機会提供を行うこと。	○		
季節性疾患(タイプ3)	・重点取組事項ではないが、加減算の指標の1つである。	3-6	予防接種の実施	インフルエンザ予防接種等の負担軽減を実施することで、感染予防を行うこと。	○		○
その他(共通)	・組合員等の年齢及び性別等に応じた効果的かつ効率的な事業	4-1	健康相談	心と身体全般に関する相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、悩みや不安を解消すること。			○
		4-2	個人の予防・健康づくりに向けたインセンティブ	健康に関する問題意識の喚起及び行動変容を実現するよう援助すること。	●	○	
		4-3	職場環境の整備(コラヘルス)の推進	組合員が保健事業に参加しやすい職場環境を醸成し、個々の組合員が健康づくりに自主的に取り組みやすい環境が職場において実現すること。	○	○	○

## ②これまでの事業（既存事業）の整理

健康課題	これまでの事業		必要と考えられる保健事業の対	事業内容	実施 (共済/事業主/共同)	対象者				事業予算 (29年度) 単位：千円	実施状況 (目的に照らして内容は適切か、課題等)	継続有 無	継続する場合：課題があれば改善策 継続しない場合：理由		
	N	名称				被保険者		被扶養者						任継	
						性別	年齢	性別	年齢					性別	年齢
生活習慣病 (タイプ1)	1	特定健康診査	1-1	被扶養者、任意継続組合員/特定健康診査結果の受領 被扶養者、任意継続組合員/受診券を配付	共済			男女	40歳以上	男女	40歳以上	3,995	被扶養者の受診率が低い	有	積極的な周知に努める
	2	人間ドック(脳コース)	1-1	人間ドック受診(希望者・1日+脳)費用の一部補助	県・共済			男女	全て			7,878	申込みが多いため、抽選となる	有	
	3	人間ドック	1-1	人間ドック受診(希望者・1日)費用の一部補助	県・共済			男女	全て			46,383	申込みが多いため、抽選となる	有	
	4	指定年齢人間ドック	1-1	指定年齢(40・45・50・55・57・59)1日ドック全額補助	県・共済			男女	対象年齢			50,382	申込者全員受診決定する	有	対象年齢の見直し
	5	特定保健指導(組合員)	1-2	主に、人間ドック受診者は健診機関で、定期健康診断受診者は 学校訪問型で実施	県・共済			男女	40歳以上			12,081	実施率の向上	有	
	6	特定保健指導(被扶養者)	1-2	定期健康診断実施者に対して実施(希望者に利用券を配付)	共済					男女	40歳以上		168	実施率の向上	有
悪性新生物 (タイプ2)	7	胃がん検診	2-1	人間ドックの中で実施	県・共済			男女	全て					有	
	8	大腸がん検診	2-2	人間ドックの中で実施	県・共済			男女	全て					有	受診機会の提供
	9	肺がん検診	2-3	人間ドックの中で実施	共済			男女	全て					有	
	10	女性がん検診	2-4 2-5	乳がん・子宮がん検診の実施/人間ドックの中で実施	県・共済			女	全て					有	
	11	女性がん検診	2-4 2-5	乳がん・子宮がん検診の実施/器官別検診で実施	県・共済			女	全て			8,660		有	受診機会の提供
	12	PET検査	2-6	がんの早期発見、早期診断に有用 県内2箇所実施	共済			男女	全て			2,682	受診希望者の減少	有	積極的な周知に努める
精神の疾病 (タイプ3)	13	メンタルヘルス訪問相談	3-1	所属へ臨床心理士が訪問して、メンタルヘルスに関する個別の 相談に応じ、併せてメンタルヘルスチェックも行う	共済(支部・病院)			男女	全て			50	本部の講師派遣事業	有	積極的な周知に努める
	14	メンタルヘルスサポート	3-2	所属へ臨床心理士が訪問して、メンタルヘルスに関する講演等 を行う	共済			男女	全て			634		有	
	15	教職員・心の健康管理医	3-1	県内4地区に精神科医を委嘱して、メンタルヘルスに関する相談を 受付ける	県・共済			男女	全て			240			事業のあり方を検討
	16	メンタルヘルスハンドブック配付	3-2	採用6年目の組合員に配付	共済			男女	対象者			205			事業のあり方を検討
歯の疾病 (タイプ3)															
季節性疾患 (タイプ3)	17	インフルエンザ予防接種補助	3-6		共済			男女	全て			2,500	対象期間：10月～12月	有	
その他 (共通)	18	健康づくりセミナー	1-4 4-1	「体の健康」をテーマに所属へ講師を派遣して講演を行う	共済			男女	全て			50	実施率の向上		積極的な周知に努める
	19	宿泊施設利用促進事業	—	パレプラン高志会館、立山高原ホテルの施設利用補助	共済			男女	全て	男女	全て	22,914	施設利用補助券を配付	有	補助方法の見直し
	20	立山探勝会	—	立山高原ホテル「マウントプラン」のバス代の半額補助	共済			男女	全て	男女	全て	1,500	宿泊コース 10回 日帰りコース 5回	有	事業区分の見直し
	21	教職員 スポーツ・レクリエーション大会	1-8	地域大会に助成	共済			男女	全て			732			事業のあり方を検討



## ④今後実施する事業（令和3年度以降）

健康課題	事業		必要と考えられる保健事業の対	事業内容	実施 (共済/事業主/共同)	対象者				事業予算 (R2年度) 単位：千円	実施状況 (目的に照らして内容は適切か、課題等)	既存/新規	継続事業：課題があれば改善策 新規事業：成功のために必要な事項		
	N	名称				被保険者		被扶養者						任継	
						性別	年齢	性別	年齢					性別	年齢
生活習慣病 (タイプ1)	1	特定健康診査	1-1	被扶養者、任意継続組合員/特定健康診査結果の受領被扶養者、任意継続組合員/受診券を配付	共済			男女	40歳以上	男女	40歳以上	4,066	被扶養者の受診率が低い	既存	積極的な周知に努める
	2	人間ドック(脳コース)	1-1	人間ドック受診(希望者・1日+脳)費用の一部補助	共済		男女	40歳以上				5,206	申込みが多いため、抽選となる	既存	
	3	人間ドック	1-1 1-7	人間ドック受診(希望者・1日)費用の一部補助	県・共済		男女	全て				39,064	申込みが多いため、抽選となる	既存	
	4	指定年齢人間ドック	1-1 1-7	指定年齢(35・40・45・50・55・59)1日ドック全額補助	県・共済		男女	対象年齢				42,808	申込者全員受診決定する	既存	
	5	特定保健指導(組合員)	1-2	主に、人間ドック受診者は健診機関で、定期健康診断受診者は学校訪問型で実施	県・共済		男女	40歳以上				7,011	実施率の向上	既存	積極的な周知に努める
	6	特定保健指導(被扶養者)	1-2	定期健康診断実施者に対して実施(希望者に利用券を配付)	共済			男女	40歳以上			0	実施率の向上	既存	積極的な周知に努める
	7	保健指導	1-7	35歳指定年齢受診者で該当者に実施	共済		男女	35歳				22	実施率の向上		積極的な周知に努める
	8	人間ドック(肺コース)	1-1	人間ドック受診(希望者・1日+肺)費用の一部補助	共済		男女	40歳以上				1,526		既存	
	9	QuPiPlus配布	1-3	特定健康診査の結果をもとに組合員へ個別性の高い健康情報冊子を配布	共済		男女	40歳以上				4,380		既存	
	10	被扶養者・任意継続組合員人間ドック	1-1 1-2 1-7	任に継続組合員及び被扶養者へ人間ドックを実施	共済			男女	20歳以上	男女	20歳以上			新規	令和4年度実施計画中
悪性新生物 (タイプ2)	8	胃がん検診	2-1	人間ドックの中で実施	県・共済		男女	全て					人間ドックに含む	既存	
	9	胃がん検診	2-1	35歳指定年齢受診者にしりょう園検査を行う	共済		男女	35歳					35歳指定年齢に含む	既存	
	10	大腸がん検診	2-2	人間ドックの中で実施	県・共済		男女	全て					人間ドックに含む	既存	
	11	肺がん検診	2-3	人間ドックの中で実施	県・共済		男女	全て					人間ドックに含む	既存	
	12	肺がん検診	2-3	ヘリカルCT検査を付加したコースを新設	県・共済		男女	全て					人間ドック(肺コースを含む)に含む		
	13	女性がん検診	2-4.5	乳がん・子宮がん検診の実施/人間ドックの中で実施	県・共済		女	全て					人間ドック各コースに含む	既存	
	14	女性がん検診	2-4.5	乳がん・子宮がん検診の実施/器官別検診で実施	県・共済		女	全て				6,099		既存	
15	PET検査	2-6	がんの早期発見、早期診断に有用 県内2箇所実施	共済		男女	全て				2,542		既存	追加募集を行う	
精神の疾病 (タイプ3)	16	メンタルヘルス訪問相談	3-1	所属へ臨床心理士が訪問して、メンタルヘルスに関する個別の相談に応じ、併せてメンタルヘルスチェックも行う	共済(支部・病院)		男女	全て				0	本部の講師派遣事業	新規	積極的な周知に努める
	17	メンタルヘルスサポート	3-2	所属へ臨床心理士が訪問して、メンタルヘルスに関する講演等を行う	共済		男女	全て				0		既存	
	18	教職員・心の健康管理医	3-1	県内4地区に精神科医を委嘱して、メンタルヘルスに関する相談を受け付ける 県立学校等には、巡回指導を行う	県・共済		男女	全て				180		既存	
歯の疾病 (タイプ3)															
季節性疾患 (タイプ3)	19	インフルエンザ予防接種補助	3-6	インフルエンザ予防接種費用の一部を補助する	共済		男女	全て				5,688	対象期間：10月～12月	既存	
その他 (共通)	20	健康づくりセミナー	1-4 4-1	「体の健康」をテーマに所属へ講師を派遣して講演を行う	共済		男女	全て				0	実施率の向上	既存	積極的な周知に努める
	21	宿泊施設利用促進事業	—	バレルラン高志会館、立山高原ホテルの施設利用補助	共済		男女	全て	男女	全て		32,018	施設利用補助券を配付	既存	補助方法の見直し
	22	立山探勝会	—	立山高原ホテル「マウントプラン」のバス代の半額補助	共済		男女	全て	男女	全て			宿泊施設利用促進事業に含む	既存	宿泊施設利用促進事業へ統合
	23	教職員スポーツ・レクリエーション大会	1-8	地域大会に助成	共済		男女	全て				73		既存	事業のあり方を検討
	24	海外日本人学校等派遣教員図書配布	—	海外日本人学校等へ派遣される教職員へと諸島を配布する	共済		男女	派遣教職員				60		既存	事業のあり方を検討
	25	婚礼法事補助	—	バレルラン高志会館で行う婚礼または法事の直会へ補助する	共済		男女	全て				185		既存	令和2年度新規事業

## ⑤事業の年度計画

健康課題	事業		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平令和5年度
	N	名称						
生活習慣病 (タイプ1)	1	特定健康診査	目標実施率：88%	目標実施率：89%	目標実施率：90%	目標実施率：90%	目標実施率：90%	目標実施率：90%
	2	人間ドック（脳コース）	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
	3	人間ドック	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
	4	指定年齢人間ドック	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
	5	特定保健指導（組合員）	継続実施：34%	継続実施：34%	継続実施：34%	継続実施：42%	継続実施：45%	継続実施：45%
	6	特定保健指導（被扶養者）	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
	7	保健指導（35歳指定年齢）	新規	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
	8	人間ドック（肺コース）	新規	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
	9	QuPioPlus配布		新規	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
	10	被扶養者・任意継続組合員人間ドック					新規	継続実施
悪性新生物 (タイプ2)	8	胃がん検診	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
	9	胃がん検診	新規	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
	10	大腸がん検診	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
	11	肺がん検診	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
	12	肺がん検診	新規	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
	13	女性がん検診	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
	14	女性がん検診	継続実施	継続実施	継続実施	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し	実施方法・体制の見直し
15	PET検査	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
精神の疾病 (タイプ3)	16	メンタルヘルス訪問相談	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
	17	メンタルヘルスサポート	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
	18	教職員・心の健康管理医	事業のあり方を検討	事業のあり方を検討	事業のあり方を検討	継続実施	継続実施	継続実施
		メンタルヘルスハンドブック配付	事業廃止					
歯の疾病 (タイプ3)								
季節性疾患 (タイプ3)	19	インフルエンザ予防接種補助	継続実施	補助額を増額 1,000円→1,500円	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
その他 (共通)	20	健康づくりセミナー	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
	21	宿泊施設利用促進事業	実施方法・体制の見直し	継続実施	継続実施	補助内容変更	継続実施	継続実施
	22	立山探勝会	宿泊施設利用促進事業へ統合					
	23	教職員スポーツ・レクリエーション大会	事業のあり方を検討	事業のあり方を検討	事業のあり方を検討	継続実施	継続実施	継続実施
	24	海外日本人学校等派遣教員 図書配布	継続実施	継続実施	事業のあり方を検討	事業のあり方を検討	事業のあり方を検討	事業のあり方を検討
25	婚礼法事補助			新規事業	継続実施	継続実施	継続実施	